

乳がん検診のご案内

創刊号 木古内町国民健康保険病院 もてなない



マンモグラフィ読影認定医師
によって診断をしておりますの
で初めての方でも安心



女性技師が撮影担当



こんな自覚症状 ありませんか？

- 乳房、わきの下に、しこりを感じる。
- 乳頭や乳輪に、ただれがある。
- 乳頭から血のような分泌物が出る。
- 皮膚の異常(赤い腫れ、毛穴が目立つなど)

上記以外にも乳房やわきの下など
異常を感じたら、どんな小さなことでも
必ずご相談ください。



リハビリテーション科のみそぎ
ボーイと玉依姫命(たまよりひめ
のみこと)よろしくお願いします。



科紹介

リハビリテーション科

こんにちは、私たちリハビリテーション科の紹介をいたします。
当院リハビリの特徴は、意外と知られていませんが…幅広い専門性です。
一般的に脳梗塞後、骨折等のリハビリはもちろんです、皆さんにはあまりなじみの無い内科系のリハビリも実施しています。COPD(慢性閉塞性肺疾患)やその他の呼吸器疾患、心筋梗塞後や冠動脈バイパス術後の循環器疾患リハビリまで…
そんな病気でリハビリするの！ってところまで実施しています。

さらに、医療・介護保険での訪問リハビリ(自宅まで伺うリハビリ)や、月から開始した短時間通所リハビリ(介護保険)まで、急性期病院では有りますが維持的なリハビリまで幅広くカバーをして町民の要望に対応できるよう頑張っています。
まずは病気のケアをしないように予防を含めて、日々の健康管理をしっかりしていきます。う。万が一、リハビリの必要な怪我や病気をしました場合、主役は患者さん自身です。元の生活に戻れるように一緒に頑張っていきます。

病院理念

「保険・医療・福祉の連携により住民の幸せに貢献します」

基本方針

地域住民のために

思いやりのある医療を目指します

安全で快適な医療を目指します

他施設との連携により最適な医療を目指します

健全な経営の実現を目指します

患者の権利と責任

患者には

医療を受ける権利: 必要な医療を公平に受ける権利があります

知る権利: 自らの受ける診察内容について知る権利があります

納得・同意の権利: 十分な情報を得て納得したうえで同意する権利があります

プライバシー保護の権利: 個人に由来するすべての情報はその個人に帰属するものであり厳重に保護される権利である

医療者と協調する責任: 診断・治療を適切に行うためには医療者と協力して診療に当たる責任があります

広報発行に当たって

医療は、ヒトの生活において電気や水道と同じように、安心・安全・快適に過ごすため最低限必要な社会基盤の一つといえます。特に木古内町国保病院の役割は、国が進めている地域包括ケアで求められる地域密着型医療の実施へと変化しつつあると認識しております。これは、住民の方々の抱える種々の健康問題についていつでも気兼ねなく相談していただくことで、その機能を十分に発揮できることを意味しております。

したがって病院のシステムと住民の方々のニーズとの間は、情報交換という太いパイプで通じ合うことが強く求められております。この最も重要な役割を期待して、今回広報誌「もっこない」を発行することになりました。また今後は、インターネット上の病院ホームページにおいても、さらに分かり易く内容の充実を図りながら、その時々情報を提供することにより医療の透明性を確保して行くつもりでおりますので、追ってご覧頂きたいとお願い申し上げます。現在私ども病院スタッフは、病院体制のすべての機能やシステムにおいて見直しを行なっております。これにより、住民の方々から期待される役割を自ら明確にし、良質な医療を継続的に提供するためにどうすべきか、という新たな課題に向かって作業をすすめております。

木古内町国保病院の前進する姿は緩やかかもしれませんが、私どもは、変革に向かって確実に歩を進める意思をもって行動しております。どうかこれまでの評価にとらわれることなく、新たな視線をもってご理解とご支援を頂きたくお願い申し上げます。



木古内町病院事業管理者
小澤 正則

熱中症は予防が大切です

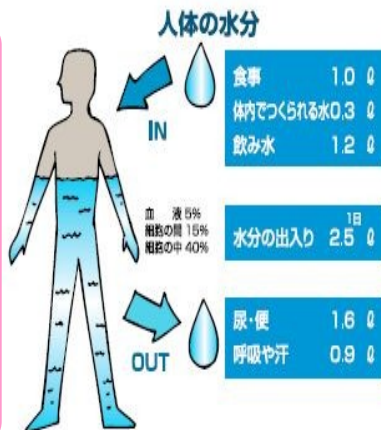
熱中症対策!!

1に水分補給! 2に塩分補給!

救急患者の診療体制について

当院を受診されている患者さんで、症状の変化など、ご心配がある場合には、時間の制限無く救急患者(救急車以外でも)として受診できます。

また、当院通院以外の患者さんにおかれましては、救急車以外で来院される場合、病院へ事前に電話をお願いします。



のどの渇きは脱水が始まっている証拠です。渇きを感じてから水を飲むのではなく、渇きを感じる前に水分を摂ることが大切です。水分が不足しやすい、

- ①寝る前後
- ②スポーツの前後
- ③入浴の前後
- ④飲酒の後

などには、水分を摂ることがとくに大切です。

水分の摂取量は全般的に不足気味で、平均的にはコップで「あと2杯」の水を飲めば1日に必要な水の量を確保できます。その際、糖分や塩分などの濃度が高いと、吸収までの時間が長くなりますので、注意が必要です。また、アルコールや多量のカフェインを含む飲料は、尿の量を増やし体内の水分を排せつしますので、注意が必要です。